

韓国語専攻モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1 時限 9:00-10:30				● 韓国語基礎 I		
2 時限 10:40-12:10	■ 韓国文化概論 I	■ 東アジア 政治経済論 I	▲ Freshman English I (CK)		▲ Freshman English I (CK)	
3 時限 13:10-14:40	● 韓国語基礎 I	● 韓国語基礎 I		▲ TOEIC600演習		
4 時限 14:50-16:20		■ 韓国史概論 I	● 韓国語基礎 I	▲ ビジネス英語 I	● 韓国語基礎 I	
5 時限 16:30-18:00	▲ 総合英語 I (a)					

オンデマンド：◆ 基礎演習 I ■ アジア研究入門

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=研究科目 ◆=基盤教育科目

▶1年次(前期)

「韓国語基礎」は、それぞれ異なる教員が週5回の授業を担当します。日本人教員と韓国人教員がそれぞれ文法や会話の授業を担当しますが、1年次にはまずすべての必修授業で韓国語の文字(ハングル)の読み書きを徹底的に学んでいきます。

1年次に履修可能な研究科目は限られていますが、「韓国文化概論」「韓国史概論」は、今後の学習の入門として1年次に履修することをおすすめします。

英語必修科目は、他言語専攻の学生と混合クラスで、週3回行われます。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1 時限 9:00-10:30			● 韓国語 翻訳法基礎 I			
2 時限 10:40-12:10		● 時事韓国語 I			歴史学 I	
3 時限 13:10-14:40		▲ English for Multicultural Communication		▲ English for Multicultural Communication	○ 研究演習	
4 時限 14:50-16:20	■ 韓国の宗教・ 社会 I		■ 韓国企業研究 I	■ 韓国語 映像翻訳法 I	● 韓国語 上級会話 I	
5 時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=研究科目 ○=演習科目

▶3年次(前期)

3・4年次の韓国語必修科目は、通訳法、翻訳法、上級会話、時事韓国語など、複数開講されている科目から、20単位分(週1回の授業を合計10コマ)選択します。

研究科目は、韓国の歴史や文化、政治など、さまざまな分野をより深く学ぶために設置されています。これらを履修することで、韓国に対する理解が一層深まります。

「韓国語映像翻訳法」は、字幕翻訳の専門家が講師を担当し、専用の字幕作成ソフトを実際に使用する人気の授業です。

英語必修科目「English for Multicultural Communication」は、他言語専攻の学生と混合クラスで、週2回行われます。